

# 私のふるさと



森宿 近藤正祐 さん



茨城県  
ひたちなか市

私のふるさととは、茨城県ひたちなか市です。私が住んでいた、日立製作所をはじめとする工業で発展した勝田市と、水産業で発展した那珂湊市が1994年に合併してできた市で、まだ30年経たない新しい市です。当時中学生だった私は、合併で市名が変わり「日本で一番長い平仮名の市」という自慢を、隣の水戸市の友達にしていた記憶があります…。

福島の人に出身地を聞かれ、ひたちなか市と言ってもピンとこないようですが「ROCK IN JAPAN」をはじめとする野外音楽フェスや、ネモフィラ・コキアがたくさん咲く「国営ひたち海浜公園」がある市と伝えれば、大体の人が分かるようになってきました。今では、地元で自慢のできる場所となりました。買い物にも便利で自然と調和し、都心へのアクセスも良く、非常に暮らしやすい街です。

また、地元で作っている「乾燥いも(干し芋)」は、絶品です。大きい芋をスライスした平干し芋と、くず芋をそのまま乾燥させた丸干し芋がありますが、私は丸干し芋の方が甘味が強くお勧めです。是非ご賞味ください！

茨城県は、毎年魅力度ランキングで最下位を争っていますが、決して魅力がない場所ではありません！是非、ひたちなか市をはじめとする茨城県に遊びに来てください。



## サークルとわたし



### 松明太鼓小若組嵐

代表者 渡邊達雄(奥州須賀川松明太鼓保存会)  
 会員 26人  
 発足年月 平成22年4月  
 連絡先 ☎0248(72)0200  
 活動日時 毎週土曜日 午後7時～8時30分  
 活動場所 ふれあいセンター

奥州須賀川松明太鼓保存会(平成元年創設)の後継者育成のために発足した松明太鼓小若組から、平成22年に中学・高校生で結成したチームが「松明太鼓小若組嵐」です。毎週土曜日に全体練習を行っていますが、練習前や日曜日の午後には、卒業生であるサポーターの指導を受けながら自主練習もしています。在籍しているメンバーは学校もバラバラですが、毎年11月の「松明あかし」などのステージで良いパフォーマンスができるよう、日々切磋琢磨しています。

本年度は、日本太鼓ジュニアコンクールに中学生、高校生それぞれのチームで挑戦し、共に東北大会に進出しました。東北大会では中学生は5位入賞、高校生は準優勝し、高校生チームは3月24日(日)に行われる全国大会への出場が決まり、より一層練習に汗を流しています。ぜひ応援をお願いします。



## tette 情報

tetteでは、市民の皆さんが生涯にわたり学べるよう様々な世代に向けた講座や各種イベント、誰でも楽しむことができる行事などを行っています。詳しくは、tetteホームページやInstagramをご覧ください。



tetteホームページ



TETTE.SUKAGAWA  
tette Instagram

### 図書館だより

中央図書館 ☎(75)3309

おひざにだっこのおはなし広場  
(おはなしの会ラ・ポム)

3月13日(水) 午前11時 ※自由参加(定員30人)

こども読み聞かせ会(読み聞かせの会ポケット)

3月23日(土) 午後2時30分

※自由参加(定員20人)

図書館で学ぶ！野菜づくりのコツと裏ワザ

3月23日(土) 午後2時 ※自由参加



### こどもセンターだより

こどもセンター ☎(76)6687

子育て支援講座「助産師さん相談会」

3月14日(木) 午前10時～11時 ※事前申込(先着6組)

子育て支援講座「英語で親子遊び」

4月11日(木) 午前10時～11時 ※事前申込(先着6組)

親子イベント「誕生カード作り」

4月15日(月) 午前9時～11時30分

※事前申込(先着6組)

子育て支援講座「親子でふれあい遊び」

4月18日(木) 午前10時～11時 ※事前申込(先着6組)



## ふるさとの遺産

No.355

—学校の今昔—

柏城小学校 その2  
(昭和57年)



柏城小学校開校直後の始業式

広報すかがわ2月号では、滑川小学校が3回増築したことなどを紹介しました。昭和31年の増築以降も児童数は増え続け、次第に校舎は手狭になり老朽化も進んだため、市は昭和53年に、滑川小学校と第二小学校の学区の一部編成替えに伴う新しい小学校の建設計画を発表。そして昭和55年7月、滑川地区で新しい小学校の建設工事が始まりました。

昭和57年3月に校舎が完成し、4月1日に柏城小学校と改名して開校します。この校名は、学校の敷地内に「柏木城」の遺跡があることと、柏には「広がる」「伸びる」などの意味があり、成長や発展を表すことから付けられました。

開校時156人だった児童数は、令和5年5月1日現在480人となっており、校名どおり発展し続けています。

博物館  
☎(75)3239